



# なかみの郷

祝祭日は国旗「日の丸」を揚げましょう

白地に赤く 日の丸をめぐめて

ああ美しい 日本の旗は

(日本の唱歌より)

第11号  
平成24年  
5月15日発行  
奈加美神社  
泉佐野市中庄 834  
電話 462-7080

## 神社振興対策モデル神社指定

平成二十四年四月より平成二十七年三月までの三年間、神社本庁より神社振興対策モデル神社の指定を受けました。神社本庁とは、東京都渋谷区代々木、明治神宮に隣接する、全国の神社（およそ八万社）をまとめる神社のお役所的存在です。モデル神社は各都道府県から一社ずつ選定され、一期三年の期間で新しい諸行事に取り組み、神社及び地域の振興に努めることを目的とします。

三月二十二日〜二十三日には神社本庁において、全国からモデル神社の宮司さんらが集い、研修会が開催されました。私も参加させて頂きました。前期のモデル神社の事業報告や、地域ごとの分散会を通じて、色々な事例の紹介があり、充実した研修会となりました。

今回このモデル神社の指定を受けて、まずは四月七日に奈加美神社氏子青年会を発足しました。従来より神社には総代会と敬神婦人会の組織がありましたが、これよりは総代会を中心に、女性のパワーと青年の機動力が歯車となって、バランスのとれた神社運営が行われることを期待するところです。自身も宮司として、奈加美神社が氏子さんの心のよりどころとなるよう、より良い神社の空間づくりに努めてまいりますので、ご理解ご協力の程宜しくお願ひ申し上げます。

## 第一回 なかみの郷春の文化祭

### 鎮守の杜コンサート



去る四月二十九日(昭和の日)、春のうららかな陽気に包まれ、午前十一時から春祭り並びに昭和祭を執り行い、午後二時から神賑わい行事として、「第一回なかみの郷春の文化祭鎮守の杜コンサート」を開催しました。

この行事は初めての取り組みで、モデル神社の事業の一環として、した氏子青年会を中心に運営して頂きました。開会式ではまず国歌「君が代」を声高らかに斉唱し、神社関係者の挨拶の後、三町会を代表して湊の松浪賢治町内会長にご挨拶を賜りました。行事では、巫女による湯立て神事(湯神楽)の奉納があり、中庄の神社総代・川崎銀豊さんの尺八、西出吟寿さんの琴の奉納演奏、続い



て神職でもあり音楽家でもある枚方・御殿山神社の片岡伸介宮司さんらによるミニコンサートが行われました。

また境内において、菖蒲酒のふるまいやお抹茶の点て出し、絵手紙作家の宮脇泰彦先生による絵手紙あんどん作りの体験コーナーなど、いずれも和やかな雰囲気で開催されました。

なお出来上がった絵手紙あんどんは、六月二十日の御田植祭で境内に飾らせて頂き、ろうそくを入れて火を灯します。御田植祭は、農家の方々が無事に田植えを終えたことを共に喜んで、神様に報告し、害虫や風水害に遭わないように祈り、秋の豊かな恵み、五穀豊穡を願う神事です。昔は松明などに火をつけて虫を追ったことから、虫送りとも言われます。神事の中では、巫女による御田植えの神楽もごさいます。社殿前の境内広場において午後八時から行いますので、是非お越し下さい。



なごし おおはらえ  
夏越の大祓  
茅の輪神事



六月三十日に夏越の大祓を行います。

大祓とは、知らず知らずのうちに身に付いてしまった、罪や穢れ(けがれ)を半年に一度お祓いする神事です。六月と十二月の晦日(みそか)に行うもので、奈良時代にはすでに国家の行事として行われておりました。現在でも宮中を始め、全国の多くの神社で行われております。奈加美神社においても、戦前までは行われていた記録が残っていますが、戦後は途絶えてしまったようです。

この大祓ですが、どのような事をするかと言いますと、人のかたちを模した紙の人形(ひとがた)に、名前と年齢を記入し、その人形で体を撫でて、息を三度吹きかけ、知らず知らずのうちに身に付いてしまった罪や穢れを、人形に移してお祓いします。

では罪や穢れとはなんでしょう？罪は一般的には道徳や法律に反した行為とありますが、人が発する言葉や態度など、そのつもりではなくても、知らないうちに人の心を傷付けたりしていることも含まれるでしょう。穢れは心のケガレ、気枯れとも表しますが、後ろ向きな心、消極的な心はいついっいつ不安感を覚えやすく、精神的ストレスを感じたりすることで、病につながるりやすくなります。大祓いはそれらを浄化する神事であり、自己を省みる節目でもあります。特に夏越の大祓には茅の輪神事といって、茅(チガヤ・スキ・スゲなどの総称)で作った大きな輪をくぐって、疫病などにかからないように身

体健全・延命長寿を願います。

詠みひと知らず

水盡月の なごしの菝ひ する人は  
ちとせの命 のぶといふなり

昭憲皇太后御歌 (心)

日にみたび 身をかへりみしいにしへの  
人のこころに ならひてしがな

半期に一度この大祓をお受けになられまして、心を新たに清々しい気持ちで、残りの半年をお過ごし下さい。大祓の人形のお申込みは、六月一日より社殿前に設置いたします。大祓の参加初穂料は一世帯につき二千円のお納めとなります。ご参加頂きました世帯には、茅の輪を模した「茅の輪御守」をお授けします。是非ご参加下さい。

鎮守の杜の植物 — 石 菝 —

つわぶき

今回は「ツワブキ」の紹介です。キク科の常緑多年草で、石に露と書いてツワブキと訓みます。春の山菜の代表、「ふきのとう」が出る「フキ」とは別属で、暖地の海辺に自生します。葉は「フキ」に似ていますが、厚みと光沢があります。この「ツワブキ」も新しい若葉の茎を調理して食べることが出来ます。

境内では所々に自生し、種がこぼれて小さい芽がたくさん出てきます。花の少ない時期の十一月頃に菊のような黄色の花を咲かせます。一輪一輪は綺麗な花とは言いきれませんが、だいたい何株にもなつてまとまって咲くので、葉の深い緑と、花の鮮やかな黄色とのコントラストが綺麗です。



自生の石菝の葉は緑色のものが多いですが、園芸種は色々な品種があります。上の写真は社務所の正面右端に植えている「金環」という品種で、若葉の頃は綺麗な黄色の覆輪が入ります。金環日食は稀にしか見れませんが、こちらは毎年この時期に見ることが出来ます。探してみして下さい。

ミニ菖蒲園

毎年恒例となっておりますが、年々充実する花菖蒲、今年はまずまずの仕上がりです。昨年より社務所前に段飾りを設けました。

紫に白に桃色など、五月の下旬から六月の下旬まで約二〇〇鉢の菖蒲が咲き競います。



ご祈祷のご案内

お宮参り・安産祈願・七五三  
厄除け・車のお祓い  
地鎮祭・住宅入居のお祓い  
神道家霊祭等、各種お祓い  
受付致しております  
お電話にてご予約お申込み  
下さい

公式ホームページ開設  
<http://www.nakami.org>